

# 山口県インターンシップ推進協議会

山口県インターンシップ推進協議会

INTERN SHIP  
YAMAGUCHI

ホーム インターンシップとは インターンシップに参加するには 受入事業所一覧 お問い合わせ

検索

ジブンの未来をもっと知るための選択。 MORE!

山口県インターンシップ推進協議会 運営委員長  
山口大学学生支援センター 教授  
平尾元彦

2013.4.22

## 0. はじめに ～ インターンシップへの期待

### 1. 実績

### 2. 設立の経緯

### 3. 実施方法

### 4. 課題

## 5. 新たな取り組み ～ キャリア教育の拠点として

## 平成24年度 実績

受入可能事業所 456 受入事業所 229

申込数 727 実施 636 実施率 87.5%

県内16校 535 (84.1%) 県外校 101

⇒ 県内は山口大学・宇部高専・県立大学・YIC専門学校で 約4分の3

3

## 平成24年度 実績

民間企業  
中小企業  
文系  
正課

公務・団体  
大手（公務含む）  
理系  
正課外

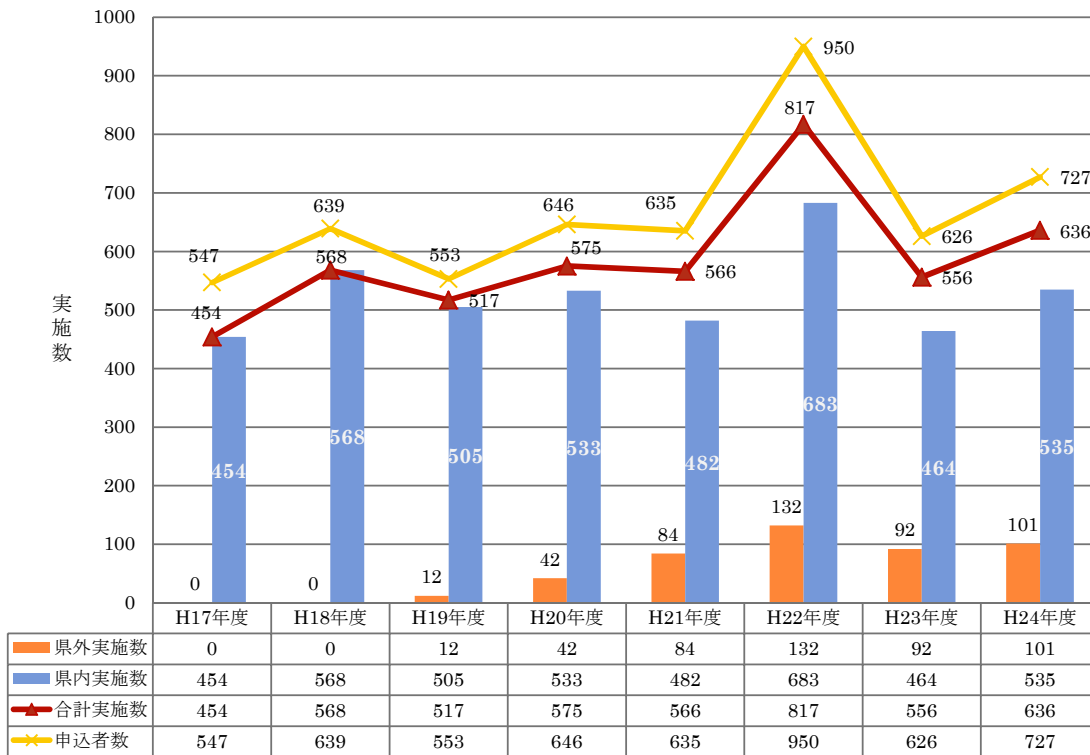
### 山口県の特徴

分散型県土構造 大学の立地 交通不便

受入先 ⇒ 大学生の就職先とインターンシップの相違

4

## ● インターンシップの推移 ●



5

## 設立の経緯

厚生労働省・山口県経営者協会 平成21年度まで

新たなスキーム  
大学中心の協議会を設立し、継続的に実施する

平成22年4月 協議会発足

会長・運営委員長は 山口大学  
事務局は引き続き 経営者協会  
山口県は事業委託

全校参加 山口はひとつ! の体制づくり

平成24年4月 事業費の過半を自主財源

各校の事情に考慮した会費申出制  
基本会費 & 応分の負担

6

## 協議会の組織

会 長 丸本卓哉（山口大学 学長）  
副会長 中原茂明（山口県経営者協会 会長）  
顧 問 山口県商工労働部長  
顧 問 厚生労働省山口労働局長

● 加入正会員 16校 5団体

山口大学	水産大学校
山口県立大学	大島商船高等専門学校
下関市立大学	徳山工業高等専門学校
徳山大学	宇部工業高等専門学校
山口学芸大学・山口芸術短期大学	専門学校Y I Cグループ
宇部フロンティア大学	
宇部フロンティア大学短期大学部	山口県経営者協会
山口東京理科大学	山口経済同友会
東亜大学	山口県商工会議所連合会
梅光学院大学	山口県商工会連合会
山口福祉文化大学	山口県中小企業団体中央会

7

## 目 的

山口県の高等教育機関等、事業所、経済団体、行政機関が相互に連携・協力し、学生が企業等へのインターンシップ事業を通じて、高い職業意識の育成を円滑かつ効率的に推進し、県内の高等教育全体の資質向上に資するとともに、山口県の経済社会の活性化に貢献することを目的とする。

8

## 実施方法

3～4月 企業等への協力依頼

5月1日～6月10日 学生応募 → 事前情報が課題

6月11日～7月上旬 仕分け・依頼・受入先決定

◎ **ここが重要** 協議会への一本化

7月下旬 2次募集

8～9月 夏のインターンシップ実施

10月以降 秋・春のインターンシップ

9

## 課題 ～金・質・数～

財政問題 : 県からの委託事業と会費（学校の負担）

教育効果 : おまかせお願いベースから  
新しい“協働”の関係へ

学習機会 : すべての学生に学びの機会を  
意識の低い学生にも  
量的拡大は重要な課題

⇒ 多様で多彩なインターンシップ実現

10

## もうひとつ、数を困難にする山口的課題

場所の問題： 通勤可能性

業種の問題： 学生の希望とのズレ  
金融・IT・研究開発・国際など

偏りの問題： 大学生を採用する会社が受け入れてない

## 新たな取り組み

山口県インターンシップ推進協議会は、  
県内学校のキャリア教育の拠点として、  
いっしょに学びを創出してまいります。

①教職員勉強会

②やまぐちday 県内企業から働くことを学ぶ

③1day学習会 産業界の協力のもと実施する学習会  
やまぐち総合ビジネスメッセ

就業体験・職場受入・5日間以上  
でない、実質的な学び強化にむけて